

## 目次

◎提言の要約	1
提言のコンセプト	2
提言1 住民の世代間交流に配慮したにぎわい施設の整備	4
提言2 農業の後継者育成・新規就農者の開拓	5
提言3 地域福祉体制の確立のための施設整備	7
◎付随資料	
1 廃校数の状況	8
2 廃校施設の実態	9

# 廃校となった施設の利活用 ～OH市の新たなまちづくり～

現  
状

- 少子化の進展や市町村合併に伴い、過疎化が激しい地域における学校の小規模化や学校配置の適正化により「廃校」となる施設が増加している。
- 地域の核となる学校の廃校に伴い、地域コミュニティの衰退が懸念される。
- 廃校となる学校（施設）の耐震基準が満たされていない例も多く、施設再利用へのコスト面での負担がかかる。

課  
題

学校は地域社会の文化的・精神的かつ中心的な役割を果たしてきたが、廃校となることで地域社会の衰退に拍車がかかるおそれがある。

○中心部…商業施設や住宅が域外に移転し、中心部の空洞化や商店街の閉鎖など、まちなかのにぎわいがなくなっている

○近郊部…近郊部の主産業である農業が、若者の都市への流出などで、過疎化の進展や就業者の高齢化の進行により、後継者不足による衰退が激しくなり、耕作放棄地の増加が問題化している

○中山間地…市内全域が高齢化の進展で、高齢者の独居や夫婦のみの世帯が増え、高齢者福祉問題が深刻化している中、特に中山間地においては、住散居による集落機能の低下が著しく地域福祉体制の再構築が問題化している。

提  
言

提言1

住民の世代間交流に配慮したにぎわい施設の整備

提言2

農業の後継者育成・新規就農者の開拓

提言3

地域福祉体制の確立のための施設整備

地域の課題を解決するための  
廃校有効利用による地域づくり

施  
策

施策1

にぎわい創造センターの設置

(行政主導型)

施策2

農業大学校の設置(市町村型)

(官民協働型)

施策3

高齢者福祉施設のための市補助金制度の創設

(民間主導型)